

宗像市は今年で10周年

広報むなかた

# むなかた タウンプレス

宗像市公式ホームページアドレス  
http://www.city.munakata.lg.jp/  
宗像市公式フェイスブック  
https://www.facebook.com/munakata.city  
メールアドレス  
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行: 宗像市  
〒811-3492 福岡県宗像市東郷1-1-1  
代表: 総務課  
☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242  
編集: 秘書政策課広報・報道担当  
☎0940-36-1055 FAX 0940-37-1242

毎月1日・15日発行

今月の紙面から

## 平成25年11月15日号

元気だから大丈夫!...それ本当? 生活習慣の見直しが重要で	3
沖ノ島の神事の場 沖津宮遙拝所、「ふるさとから世界遺産を!」	9
おどろきと発見がいっぱい! 「夏の課外授業」、「子どもの未来が育つまち」	14
大自然を楽しみながら1,330人が快走 宗像大島ハーフマラソン2013	2
市の新しいビジョンをみんなでつろう、「宗像力プロジェクト」	4
孔大寺の大イチョウ、「時間旅行ムナカタ」	9
なくそう、セクシュアル・ハラスメント、「メッセージ」	10
太陽光発電システムの契約は慎重に!、「転ばぬ先の杖」	12
活発に進行中 赤間地区の「地域健康づくり作戦」、「健康むなかた21」	13

1~5	5~7	8	9~12	13	14
行政	学びの里	カレンダー	お知らせ	健康・福祉	子どもの未来

大きく打ち上がる花火に来場者は大興奮



## 夜空を彩る花火は圧巻 みあれ祭前夜祭

新市制10周年記念として、みあれ祭前夜祭を9月30日、北斗の水くみ海浜公園(道の駅むなかた側の釣川河口)で開催。市内外から6000人を超える来場者でにぎわいました。

特別ステージでは、アーティストによるスペシアルライブなど、さまざまな催しが披露され、三女神記ミュージカルでは、子どもたちがのびのびと演技をしていました。

出店で何を買おうかと目を輝かせる子どもたちから、ステージを見るお年寄り夫婦まで、会場は活気に包まれていました。

メインイベントの花火大会では、音楽に合わせて打ち上がる花火の美しさに来場者は感嘆の声をあげていました。

中間市から来ていた河野裕哉さん(26歳)と中島美帆さん(23歳)は「花

### みあれ祭前夜祭の花火大会にご協賛いただきありがとうございました

〔敬称略〕  
尾塚建設、オテルグレイジュ、遠賀信用金庫、キューサイ(株)、(株)キューレイ、(株)グリーン企画、(有)げんかい、(有)玄海環境サービス、玄海ホテル旅館組合、古賀電気、玄海ロイヤルホテル、シーサイドガレージ、(株)ジェイウェイブ、(有)福岡タック、(株)城山家具、末広、スナックくるくる、スナックムーミン、世界遺産市民の会、(株)相互建設、大祐産業(株)、(株)高山不動産、田中土木工業(株)、鎮国寺、徳永歯科クリニック、トヨタ自動車九州(株)、とんこや、西日本シティ銀行、華杏、(株)ピース、(有)ヒロムラ、ファンキークルー、福岡銀行、(株)富士サービス、藤原モーターズ、道の駅むなかた、宗像市管工事組合、(有)ムナカタサービスクリエイティブ、宗像市職員労働組合、宗像市部課長会、宗像セントラルクリニック、宗像大社、ライフ電気サービス、龍塗装工業、(有)レストランハイパー、和音、(株)HSD、安部文明、岩城俊郎

## 祭りを華やかに彩った 海上・陸上神幸



10月1日に実施されたみあれ祭では、海上・陸上神幸が伝統の祭りを大いに盛り上げました。

みあれ祭は、宗像三女神である沖津宮(沖ノ島)の田心(たごり)姫神と中津宮(大島)の湍津(たぎつ)姫神を、辺津宮(田島)の市杵島(いちきしま)姫神がお迎えする神事です。

海上神幸の船団が神湊に姿を現すと、人々からは「すごい!」と感嘆の声が。神湊に着いた三女神のみこしは、沿道の多くのの人に見守られながら、神湊のまちを巡りました。

陸上神幸には、玄海中学校、玄海小学校、玄海東小学校の子どもたちも参加。神官を先頭に、5、6年生はきらびやかな衣装を身にまとい、紅白の旗を付けた御長手(おんながて)を、中学1年生の男子はみこしを担ぎ、残暑の中、懸命に行進しました。

沿道で陸上神幸を見学していた大滝房

### 学校・家庭・地域の総合力で 学力アップ! 【詳細記事6、7ページ】

全国学力・学習状況調査で、宗像市の子どもたちの学力が、福岡県や全国平均を上回るという結果が出ました。学校では、小中一貫教育を推進し、学力や社会性を育む教育活動を展開しています。

また、地域では、「子どもの可能性を伸ばしてあげたい」「学校を応援したい」と、地域の教育力を生かした「現代版・寺子屋」や「丸つけ隊」が発足しています。子どもたちの学力向上に一役買った活動が目立っています。

問い合わせ先  
▽教育政策課 ☎(36)5099  
▽子ども育成課 ☎(36)1214

### 10年間を振り返り... 協働のまちづくりを考える

西日本新聞社の記者が地域課題について住民と一緒に考える座談会「地域と語ろう隊」が9月24日、メイトム宗像で開催されました。

出席者は、福岡教育大学教授・井上豊久さん(53歳)、旧大島村長・河辺健治さん(65歳)、NPO法人改革プロジェクト代表・立花祐平さん(28歳)、宗像ユリックス館長・松永年生さん(70歳)、池野地区コミュニティ運営協議会元事務局長・松山道代さん(52歳)の5人です。

新市制10周年を迎え、この10年を振り返りながら「協働のまちづくり」をテーマに議論しました。出席者からは「合併して市が大きくなったことで、横のつながりが希薄になった。逆にインフラの整備などは充実した」「合併後、コミュニティが果たしている役割は大きい」「行政に言われてやるだけではいけない。自発的に考えて行動することが大切」などとさまざまな意見が出され、活発な議論の場となりました。

問い合わせ先  
秘書政策課 ☎(36)1055

